

酷暑と豪雨の中の13日間の平和行進、群馬、山梨へ引継ぎ

—北海道からの全国通し行進者三浦コト子さん「長野で鍛えられました！」

5月6日に北海道礼文島を出発した国民平和と大行進日本海側コースが、6月27日(金)、信濃町関川橋県境で新潟県から引き継がれました。北海道から約50日間歩き続けている全国通し行進者の三浦コト子さん(愛知県)が「あと30日間東京まで頑張ります」と決意を述べ、長野県行進団に合流しました。両県で約60人参加した引継ぎ集会では、信濃町の鈴木町長も挨拶しました。

非核平和行進(原水禁系)との相互乗り入れ共同は9年目

信濃町から出発した行進は、飯綱町へ引き継がれ、6月30日(月)長野市に入り、27日に飯山をスタートした中野・小布施・須坂の支線コースと城山公園で合流しました。

城山公園から善光寺仲見世、中央通りを通ってトイゴ広場までの行進は、150人を超える参加者となりました。城山公園からトイゴ広場までの行進には、非核平和行進(原水禁



新潟からの引継ぎ集会 6月27日関川橋



善光寺仁王門前
非核平和行進と網の目平和行進の横断幕が並ぶ共同行進

系)の皆さんも行進し、終結集会では原水禁の代表が連帯挨拶をしました。これに先立って、6月17日に長野市役所から長野駅までの非核平和行進(原水禁系)に、私たち網の目平和行進(原水協系)からも代表が行進し挨拶しました。この「相互乗り入れ共同」は今年で9年目となります。

県庁前出発集会で県国際課 県会議長の激励受け、幹線2コース出発
7月1日(火)、県庁前出発集会で、県知事代理国際課長挨拶と県会議長メッセージ、共産党の山口・和田県議、無所属小林県議の挨拶を受け、こども原水禁代表の連帯挨拶を受けました。集会には100人超が参加し、バスターミナルで、中南信と東信の幹線2コースに分かれて行進を繋ぎました。



山梨との引継ぎ集会 7月9日 富士見町鷲木街道の駅

酷暑と豪雨の中、群馬、山梨へ無事引き継ぎ

2幹線コースはその後、各地を引き継いで、佐久・大北・木曽・下伊那・上伊那の支線コースと合流し、4日(金)に軽井沢氷峠で群馬に、9日(水)に富士見鷲木街道の駅で山梨へ無事引き継がれました。

今年は、どこでも夏本番の猛暑の中、行進となり、各地域でそれぞれ困難を乗り越えて何とか繋ぎ、また軽井沢氷峠では突然の豪雨の中、行進となりました。通し行進の三浦さんは、長野から松本、諏訪のコースに入り、先頭に立って奮闘していただき、私たちに勇気と力を与えていただきました。三浦さんは、山梨への引継ぎ集会で、「長野の皆さんにはお世話になりました(思いがけない暑さに)鍛えられました。これから東京まで頑張ります」と挨拶されました。

来年に向けて猛暑・豪雨対策、参加者を広げる取り組みなど、根本的な検討が必要

行進の取り組みや参加状況の詳細や総括は今後実行委員会が集約しますが、特に宣伝力確保問題、猛暑・豪雨対策、高齢化のなかでの参加者・行進者を新たな視点で広げる対策など、今後の平和行進を持続・発展させる方策について、根本的な面からの議論・検討が必要となっています。



山梨引継ぎ集会で挨拶する
通し行進者三浦コト子さん



県庁前からスタートする平和行進

